

奈良労働基準監督署長 殿

2016年9月28日
日本共産党奈良市議会議員団

日本共産党奈良県議員団

県議会議員 山村 幸徳

県議会議員 今井 光子

県議会議員 小林 照代

県議会議員 宮本 次郎

県議会議員 太田 敦

奈良市登大路町30奈良県議会内

Tel 0742 (27) 5291

わずか1カ月に3名が死亡事故 廃棄物リサイクル会社で発生した労働災害についての申し入れ

奈良市南庄町の廃棄物リサイクル会社「I T O」でこの間わずか1か月の間に従業員2人、また大淀町にある吉野工場で1人が死亡する事故が発生しました。さらに2011年4月にも奈良工場で破砕機による死亡事故が起きています。

2016年9月5日	男性作業員 (45)	破砕機に巻き込まれて死亡	奈良
8月20日	アルバイト作業員 (56)	ショベルカーとトラックに挟まれて死亡	奈良
8月2日	男性派遣社員 (67)	ベルトコンベヤーに巻き込まれて死亡	大淀
2011年4月		破砕機に巻き込まれて死亡	奈良

9月5日の事故は廃材を砕く作業をしていた男性が行方不明になり、破砕機から男性のものと思われる体の一部などが見つかりました。その後行方不明の男性であったと確認されました。新聞報道によれば男性は下請け会社の作業員で破砕作業は初めてであったということです。

平成23年4月にも男性従業員が南庄工場でベルトコンベヤーに巻き込まれて死亡しており、当時、奈良労働基準監督署が労働安全衛生法違反容疑で運営会社「I・T・O」（奈良市）を奈良地検に書類送検していたとのことですが、その後労働環境改善や安全対策について確認をしていたのでしょうか。それがきちんと行なわれていれば今回のような事故を防げたのではないかと思います。

わずか1か月に、同じ事業所で3人もの死亡事故が起きることは異常事態です。警察は工場に捜査員を派遣し事故と事件の両面から調べる方針とのこと。

二度と事故を起こさないために、監督署が職場の安全対策についての指導、監督を責任を持って行うよう強く要望するものです。

以上